

Born Explorers

～幸せな子ども時代～

個別の宿題

1Qの懇談会で「希望があれば、個別に宿題を出します」というお話をさせていただきました。

懇談会から約1ヶ月近く経ちました。今ではメールで多くの家庭と個別の宿題についてやり取りをさせて頂いています。

取り組みの一例を紹介させていただきます。

①テストで不合格だった子のサポート

学校から提案し、取り組んで頂いています。その子が書けない漢字を赤枠で囲みそこだけを取り組むなど、本人の学習負担を最小限にしてやる気を持続する工夫を徹底的に考えています。

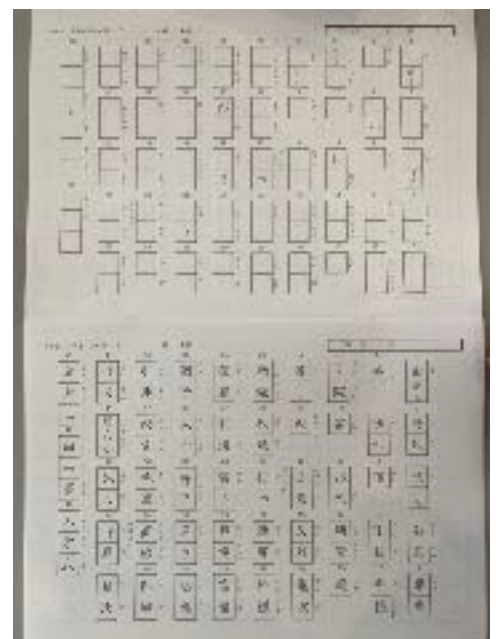
自主的に再テストを受けて合格した子もいます。「大変だったけど、やってよかった」と思えるよう、達成感と自信を持つことを目的にして取り組みます。



②漢字テストの先取り

3年生の漢字テストはあと2枚あります。8月の初めに2枚目、8月末に3枚目を行う計画でいます。3枚とも合格すると3年生で習う漢字を全てマスターできるようになっています。

2枚目の漢字を先取りで学習している子がいます。早めに3枚合格してしまえば2年生の漢字の復習をしたり、4年生の漢字も先取りで覚えたりすることができます。合格したら終わりなので、無駄が少なく、達成感もあります。



③計算力の向上

計算力の向上に取り組んでいる子もいます。例えば右上のようなプリントです。1Qからずっと伝え続けているように計算力は本当に大切です。計算力によって学習効率が全く違ってきます。計算力がないと、算数の考え方は理解できても解けない問題が出てきてしまいます。

先日、とある4年生の学習の様子を見る機会がありました。右下のような問題を解いていました。この問題は「計算の順序」を学ぶ問題です。しかし、順序を学ぶ以前に、以下の計算を暗算で正しく解く力が必要です。

① 24×2

② $48 + 18$

③ $42 \div 7$

④ $66 - 6$

暗算で楽々できるのか、一生懸命考えてなんとかできるのか、筆算を使えばできるのか、できないのか。計算力の違いで、問題の難易度も、解くまでにかかる時間やエネルギーも全く違ってきます。4年生までの算数は計算力が5割だと僕は思っています。

計算力の向上については学校でも毎日取り組んでいますが、不安な方はご相談ください。最適なプランをご提案いたします。

3つの事例を紹介しましたが、他にもご提案できるプランはたくさんあります。達成感を感じることができるよう精一杯サポートさせていただきます。

「月水金なら時間があるから取り組ませたい」「土日に30分なら続けられる」など、お子様の生活リズムに合わせてご提案することもできます。内容が合わなければすぐ止めることもできますし、変更することもできます。

イメージとしては結婚式のプランナーです。ご家庭ごとに最適なプランをご提案します。もちろん無理にとは言いません。すでに家庭学習が充実している子には必要ありません。もし家庭学習に悩まれているような場合は、気軽にご相談ください。

(前川)

